

# 令和 5 年度 第 3 回 理事会議事録

日 時：令和 5 年 6 月 14 日（水） 19：00～21:00

場 所：代表理事自宅

## [出席者]

理 事：小嶺衛、立津統、末吉恒一郎、久高将臣、神谷喜一、仲宗根美紀、金城良和、 當間智史、宮里由乃、比嘉俊文、南部路治、当真祐二、玉城すみれ、武富新太郎、平良雄司

監 事：仲西孝之、千知岩伸匡

委員会：第 24 回沖縄県理学療法学会大会実行委員長 安村大拙

書 記：馬上恒弥

WEB 担当：上地誠之

## [審議事項]

- ・第 1 号議案 入会の承認に関する件…【資料ファイル 1、1-1】
- ・第 2 号議案 令和 5 年度 第 1 回沖縄 CDE 会講演会 共催に関する件…【資料ファイル 2、2-1】
- ・第 3 号議案 令和 5 年度石垣市介護予防普及啓発事業受託に関する件…【資料ファイル 3、3-1】
- ・第 4 号議案 第 9 期石垣市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会委員の推薦に関する件…【資料ファイル 4、4-1、4-2】
- ・第 5 号議案 県外会員の演題発表可否に関する件

議決に加わることの出来る理事数 15 名

出席者理事数 15 名

上記のとおり、理事及び監事の出席が確認され、代表理事小嶺衛が議長となって、本理事会は 集合と Web 会議システムを併用して開催する旨宣言した。

議長小嶺衛は、参加理事末吉恒一郎、立津統、久高将臣、仲宗根美紀、當間智史、宮里由乃、玉城すみれ、武富新太郎、金城良和、南部路治、当真祐二、平良雄司、神谷喜一、監事千知岩伸匡、仲西孝之に対し、Web 会議にて本理事会に出席する旨を説明し、Web 会議システムにより、出席者の映像と音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一同に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっている事が確認されて、議案の審議に入った。

## [報告事項]

### 1. 会長

※月次活動報告

### 2. 副会長

※月次活動報告

### 3. 事務局

※月次活動報告

### 4. 地域局

※月次報告書

### 5. 社会職能局

※月次活動報告

6. 教育学術局  
 ※月次活動報告

7. 各種委員会

第 1 号議案 入会の承認に関する件

提出日：令和 5 年 6 月 13 日	提出者：上地誠之		
担当局：事務局	担当部：総務部		
議案主題	入会の承認に関する件 【資料ファイル 1】		
議案内容 及び 提出理由	<p>【入会申請者】計 40 件 承認：36 件、 否認：0 件、保留：0 件          令和 5 年度累計：8 名 (R5. 4. 1～R5. 5. 9)</p> <p>【会員動向】令和 5 年 5 月 31 日現在 ※連絡不能者含む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在会会員数：1,461 名、施設所属会員数：1,342 名、自宅会員数：119 名、休会：387 名</li> <li>・会員所属施設数：313 施設</li> </ul> <p>【期間会員動向】令和 5 年 5 月 1 日～令和 5 年 5 月 31 日</p> <p>※当協会入力状況から検索</p> <p>異動：31 名 (県内：26 名 転入：5 名 転出：0 名) (うち再申請：0 名 否認：0 名)</p> <p>休会：2 名 ※休会継続含む</p> <p>退会：3 名</p> <p>復会：2 名</p>		
審議内容	1 入会の承認について 質疑応答なし。		
審議結果	<p>全員一致で可決。</p> <p>可：15 名</p> <p>否：0 名</p>		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">担当局：事務局</td> <td style="width: 50%;">担当部：総務部</td> </tr> </table>	担当局：事務局	担当部：総務部
担当局：事務局	担当部：総務部		
備考			

第 2 号議案 令和 5 年度 第 1 回沖縄 CDE 会講演会 共催に関する件

提出日：令和 5 年 6 月 7 日	提出者：末吉聖子
担当局：事務局	担当部：総務部
議案主題	令和 5 年度 第 1 回沖縄 CDE 会講演会 共催に関する件 【資料ファイル 2, 2-1】
議案内容及び提出理由	<p>沖縄 CDE 会より、令和 5 年度 第 1 回沖縄 CDE 会講演会における共催依頼文書が届いております。</p> <p>沖縄 CDE 会は 2022 年 12 月に「沖縄県日本糖尿病療養指導士会」と「沖縄県地域糖尿病療養指導士会」を「沖縄 CDE 会」へ結合し、糖尿病セルフケア支援のエキスパートを育成目的に活動を行う団体とある。</p> <p>日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会を下記日程で開催。</p> <p>研修会名：令和 5 年度第 1 回沖縄 CDE 会講演会</p> <p>開催方法：ハイブリッド型研修</p> <p>日 時：令和 5 年 8 月 20 日（日） 12：00～14：10</p> <p>場 所：沖縄県医師会館 3 階ホールより Web 配信(ZOOM ウェビナー)</p> <p>住所 → 沖縄県南風原町字新川 218-9</p> <p>TEL → 098-888-0087</p> <p>認定更新に必要な研修単位のうち、＜第 1 群＞自己の医療職研修単位（職種別）については、<u>当協会主催・共催の研修会で 2 単位取得が可能</u>となっており、当協会会員の「日本糖尿病療養指導士」においては、更新対象の研修会に繋がるものと捉える。</p> <p>共催諾否書の返信期限は 2023 年 6 月 12 日（月）までとなっているが、事務局へ確認したところ、理事会後の回答でよいと内諾を得た。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回答返信予定：理事会後の 6 月 15 日（木）</li> <li>・第 1 群 職種別の取得単位において 誤) 0.5 単位（文書内表記） 正) 2 単位（お電話時に訂正あり）</li> </ul> <p>以上にて、共催におきまして審議をお願い致します。</p>
審議内容	<p>共催諾否について 質疑 (仲西監事より) 沖縄県理学療法士で第一人者や取り組んでいる病院はあるのか、参考に教えてほしい。</p>
審議結果	<p>全員一致で可決。 可：15 名 否：0 名</p>
	<p>担当局：事務局      担当部：総務部</p>
備考	

第 3 号議案 令和 5 年度石垣市介護予防普及啓発事業受託に関する件

提出日：令和 5 年 6 月 7 日	提出者：上地誠之
担当局：事務局	担当部：
議案主題	令和 5 年度石垣市介護予防普及啓発事業 事業受託について 【資料ファイル 3, 3-1】
議案内容及び提出理由	<p>石垣市福祉部介護長寿課より、令和 5 年度石垣市介護予防普及啓発事業について事業受託への依頼あり。</p> <p>実施要項より</p> <p>「人生 100 年時代を見据えて、誰もがより長く元気に活躍できるように、多職種が専門性を活かし介護予防・フレイル対策・認知症予防や生活習慣病などの疾病予防・重症化予防を一体的に実施し、在宅で自立した生活を送れる高齢者の増加を目指すことを目的」とあり、令和 4 年度より継続しての委託依頼となっている。</p> <p>定款第 4 条 (1) 理学療法を通じて、県民の医療・保健・福祉の増進に寄与するための事業とし、ご審議をお願い致します。</p> <p>※事業受託意向の申込書の提出が必要となる。</p> <p>(内容)</p> <p>実施主体：石垣市介護長寿課 地域包括支援センター</p> <p>委 託 先：医療・介護の知識を有する専門職団体</p> <p>対 象 者：石垣市民で前期高齢者 (65～74 歳)</p> <p>要介護・支援認定または総合事業対象者でない者</p> <p>事業内容：理学療法士によるフレイル予防のための運動指導と専門職によるミニ講話</p> <p>人 数：15 名 (先着)</p> <p>実施期間：令和 5 年 9 月から令和 6 年 3 月末日</p> <p>時 間：1 回 2 時間程度</p> <p>実施回数：1 クール 12 回×2</p> <p>(委託料及び支払)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防普及啓発教室 1 回 30,000 円 (計 720,000 円)</li> <li>・委託料に関し、全業務を実施後、実績報告書を添えての金額を請求。請求を受けた日から 30 日以内に業務委託料を支払う</li> </ul>
審議内容	<p>契約の可否について</p> <p>【質問】</p> <p>(末吉副会長より)</p> <p>八重山支部のコンセンサスは得られているという事でよろしいでしょうか？支部と石垣市とやり取りされて協会へ依頼している流れだと思うが、今後こういう市町村事業を拡大するにあたり、プロセスを可視化できるようにマニュアルのようなものを作成して周知出来たらいいと思ったので確認させて下さい。</p> <p>【回答】</p> <p>(上地事務長より)</p> <p>R5 年度になり、石垣市のほうと八重山支部の方で話を詰めていたようで、こちらにはある程度決まった状態で連絡がきました。どこまで詳細な話をしていたのか分からない状態ですので、プロセスをきちんとしていかないといけないと</p>

	<p>思います。金額も決まった状態で上がってくるので、見積りの話も出来ないのが現状です。</p> <p>(久高事務局長より)</p> <p>離島のメリットは行政と近いので、先に相談をしてしまう。72万は包括で単独で動かせるお金なので、そのお金で依頼してきていると思う。本島内で相談があった場合には県事業でアドバイザリー事業というのをとっているの、県の予算で相談業務として市町村へ出向いて課題ややってほしい事を受けて当年度はパイロット事業として県事業の予算で捻出してそれを次年度の予算に乗せるというプロセスを今のところ踏んでいる。こういう風に出来たらというのを見せれるようにしていきたいと思う。</p> <p>(末吉副会長より)</p> <p>議案として上がってきているので、実際の所中身がわからない部分がある。これを否決というわけにはいかず、形上の審議になっているような気がする。我々ももっと内容を把握した上で承認・可否の判断をするのかを詰められたらと思う。こういう事業を受けるのは良いことだと思う。他の市町村にも広げていくために、どういう手続きをとって、どういうプロセスで繋がっていったのかを共有出来たらいいなと思う。</p>	
審議結果	<p>全員一致で可決。 可：15名 否：0名</p>	
	担当局：事務局	担当部：
備考		

第4号議案 第9期石垣市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員の推薦に関する件

提出日：令和5年6月7日	提出者：上地誠之
担当局：事務局	担当部：総務部
議案主題	「石垣市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」第9期計画策定委員会 委員の推薦に関する承認可否について【資料ファイル4】
議案内容及び提出理由	<p>石垣市より、「石垣市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」第9期計画策定委員会の委員推薦の依頼となっている。</p> <p>第9期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会では、「すべての高齢者が健康で生き活きと共に支え合い安心して暮らせるまちユイマールいしがき」の実現に向けてことを目的としている。</p> <p>定款第4条(1)理学療法を通じて、県民の医療・保健・福祉の増進に寄与するための事業とし、事業を通して市町村事業に対する理学療法の提供などが期待される。</p> <p>石垣市より、当協会会員の「西原美樹 氏」を委員推薦者として希望がある。推薦に関する承認を含め、推薦者のご検討について審議いただきたい。</p>

審議内容	<p>1. 当協会より推薦の可否について</p> <p>2. 委員推薦者：西原 美樹 氏の可否について</p> <p>質疑応答なし。</p>	
審議結果	<p>1. 当協会より推薦の可否について</p> <p>全員一致で可決。</p> <p>可：15名</p> <p>否：0名</p> <p>2. 委員推薦者：西原 美樹 氏の可否について</p> <p>全員一致で可決。</p> <p>可：15名</p> <p>否：0名</p>	
備考	担当局：事務局	担当部：総務部

第5号議案 県外会員の演題発表可否に関する件

提出日：令和5年 6月 14日	提出者：末吉恒一郎
担当局：第24回沖縄県理学療法学会大会実行委員会	担当部：
議案主題	県外会員の演題発表可否について
議案内容及び提出理由	<p>埼玉県理学療法士協会会員より、第24回沖縄県理学療法学会大会で演題発表可否の問いあわせがあった。</p> <p>演題募集要項には「原則として公益社団法人日本理学療法士協会会員（公益社団法人沖縄県理学療法士協会会員）以下本協会会員に限ります。尚、他職種が筆頭演者の場合は、共同演者に本協会会員が含まれている必要があります。」と規程に記載されている。</p> <p>実行委員会としては、WEB開催あるいはハイブリッド開催が普及したことで県外会員の参加者も増加している中、演題発表に関してもご来場いただくことを条件に認めてもよいのではないかとの意見であった。但し、九州ブロック各士会の対応も確認した方がよいとの助言があり、確認したところ、佐賀県士会は日本理学療法士協会会員としており、その他は当該士会のみと規程には記載されていた。</p> <p>当会の学会大会の開催方式としては、離島県である本県の特性上、ハイブリッド開催の継続は必要と思われる。これにより県外会員の参加促進も見据えた上で、県外会員の演題発表についても認めていただきたいと考え、ご審議いただきたい。</p>

審議内容

県外会員の演題発表に関する可否

〈 可 ・ 否 〉

【質問】

(比嘉理事より)

今回大会から若手奨励賞や学会の賞に県外からの会員も当てはまるのかどうか？そこも見据えているのかどうか？

(末吉副会長より)

そこまで議論はしていない。私が思うのは、一旦演題受付をした場合にそういうのも等しく対象にするべきではないかなと思う。

(南部理事より)

参加費の差別化のところで、お金の出所が県内会員の会費というのを、重んじて、県内会員の為に学術活動として開催するというの念頭においているのであればいいのかなと思う。様々なニーズがある中で県外からの会員を入れるのも一つありなのかなと思う。大会が盛り上がり県内会員の為にもなるような仕組みであれば望ましいと思う。

(千知岩監事より)

反対意見。演題がこれから増えていくと思うが、生涯学習システムでも県の学会で発表する事があるので、より一層多くなっていくと思う。質のレベルから、県外の演題を受けて、県内会員は落ちてしまう可能性がある。そうすると沖縄県PTの質の向上をするという目的がなくなってしまふ。あと、県の演題発表を見ていると一部の施設が多く、満遍なく出ている印象がない。まず県士会としては県内の多くの会員が多く演題を出してもらふ事を優先にするべきではないかと思ひます。

(末吉副会長より)

ここ数年演題登録自体はキープ出来ているが、一部の施設が半分を占めている事もあるので、多くの施設から発表を募りたいというのが正直な所。演題を集めるのにも苦勞している状況。県外からの発表も一つの起爆剤にもなるのではないかと思っている。

(小嶺会長より)

例えば、今後増えてきた時に、県外セッションとかを別に設けてやるなど色々方法はあると思う。どこの学会か分からなくなるように。枠を広げるのは悪いことではないと思う。

(末吉副会長より)

埼玉県では認められているよう。ただ、共同演者として埼玉県会員がいること、他施設間研究のような感じは認められているよう。本来ならもっと審議すべきだが、演題登録期限も迫っているので、本日で承認可否を決めていただきたい。

(久高事務局長より)

他学会では会費の差額をつけている。1000円差とかであれば安すぎるのではないかなと思う。

(武富理事より)

駆け込みで演題登録が多くなることが予想される。2・3年以内には駆け込みで参加するかと。沖縄県の学術大会に興味があつて発表・参加するというよりはポイント稼ぎでとりあえず発表したいという人が増えると思われる。県内会

	<p>員が発表出来なくならないか不安なところ。今回承諾すると次回からも継続なのか、一度窓口を広げてまた狭くすることは可能なのか。</p> <p>(末吉副会長より)</p> <p>実行委員会で検討はするが最終的には理事会で決まる事になる。実際にやってみて課題が多いようであれば次期大会の運用に関して見直すのは可能。逆にやってみれば継続でもいいかと考えている。</p> <p>(平良理事より)</p> <p>確かにポイント稼ぎなどで演題が多くなるのは困ると思う。しかし沖縄にゆかりがあって発表する事はいいことなのかと。今すぐ募集要項の文言は変えられないが、例えば、JPTA（沖縄県士会、県内養成校卒業など）という風にして、同期や県内会員へ発表する事でいい刺激にもなるのではないかと。</p> <p>(神谷理事より)</p> <p>すでに演題募集は始まっていて、募集要項も変更できないので今回は引き受け、次回から募集要項を見直していけばいいのではないかと。</p> <p>(千知岩監事より)</p> <p>社会から見たときにおかしくないような募集要項にしないといけないと思う。埼玉県のように共同演者として県の会員がいるというような事であればおかしくないのではないかと。</p> <p>(小嶺会長より)</p> <p>次回大会からは募集要項の文言など整理したほうがいい。</p>	
<p>審議結果</p>	<p>今回の募集要項では断る事が出来ないなので、今回は引き受けるという形になります。</p> <p>全員一致で可決。</p> <p>可：15名</p> <p>否：0名</p>	
<p>備考</p>	<p>担当局：第24回沖縄県理学療法学会実 行委員会</p>	<p>担当部：</p>

公益社団法人 沖縄県理学療法士協会  
 会長 小嶺 衛  
 監事 仲西 孝之  
 監事 千知岩 伸匡